

VIII 保留コードの統一化

プログラム変更要望に基づく追加検討項目：航空（貨物）

平成27年3月20日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社



1. プログラム変更要望の概要

区分	概要
1. 検討項目	保留コードの統一化
2. 変更要望	<p>1. 保留処理の識別コードについて 「一括搬入確認登録（B I L 0 1）」業務の場合、処理識別欄への入力値は「P = 搬入保留」、「X = 一括処理対象外」となっている。一方、「搬出確認登録（M A W B 単位）（E X M 0 1）」業務では、L D Rの発行を保留したい場合、「X = 処理対象外」を入力する必要がある。これらのコードの違いから、B I L業務においても間違えて「X」を入力する時があるので、搬入業務とL D R発行業務の保留処理の識別コードを合わせてほしい。</p> <p>2. 航空あるいは海上システムでの操作性の統一 例えば「C」ならキャンセル、「D」なら削除などという形でシステム上で入力する文字に統一した意味を持たせるほうが良いと考える。またこのような変更に関しては更改のタイミングでないと難しいと考える。</p>
3. 次期仕様	<p>1. 海上 / 航空業務のそれぞれの範囲内であればコードは統一されている。 (海上業務はE D I F A C T電文の入力に準拠、航空業務は次頁参照)</p> <p>2. 海上 / 航空間で統一するとなるとどちらか一方の利用者様（航空業務）の自社システムへ大きな影響が生じること、また、操作性の点においても現行のコードに慣れている利用者様がいる。更改のタイミングであるからこそ御要望を頂いたことは承知しているが、当該検討項目の実施は見送らせて頂きたい。</p> <p>なお、今後の新規業務の開発においては、頂いた御意見を念頭に置き、可能な限り操作性の向上に努めます。</p>

2. 参考

・航空輸出貨物業務における、処理識別の入力

業務	業務コード	処理識別
搬入業務	B I L	スペース：搬入確認 X：一括搬入処理対象外 P：搬入保留 *：搬入不能
	B I I	スペース：搬入確認 X：処理対象外
搬出業務	E X A	スペース：搬出確認 X：処理対象外
	E X M	スペース：搬出確認 X：処理対象外 E：搬出処理完了
仕立業務	H D F	スペース：登録・訂正 C：取消 D：削除 X：処理対象外
積付業務	U L A	P：全量保留 X：全量バラ積み（処理対象外） スペース：積付対象
	U L M	E：登録完了 P：全量保留 X：全量バラ積み（処理対象外） *：処理対象外 スペース：積付対象
便割業務	F L I	スペース：AWB U：ULD X：処理対象外
搭載業務	C L A	スペース：処理対象 X：処理対象外 F：全量不積（便割当て取消し）
	C L B	スペース：処理対象 X：処理対象外 F：全量不積（便割当て取消し）